

学校教育目標

小学部・中学部・高等部の課程を通して、調和のある一貫した指導を行い、児童生徒の全人的な発達を促し、主体的に社会生活に参加できる人間の育成を目指す。

目指す児童生徒の姿

- 小学部「みんなといっしょに のびのびと」・・・基本的な生活習慣を身に付け、興味関心を広げ、意欲的に取り組む児童
- 中学部「仲間とともに 生き生きと」・・・他者と関わりながら、生活経験を拡大し、主体的に社会参加しようとする生徒
- 高等部「心豊かに たくましく」・・・目的達成に向け、課題を解決しながら、自分のもてる力を最大限に発揮し、取り組む生徒

学校経営目標・計画

- Ⅰ 自立と社会参加を目指した教育の推進
- (2) 大学・家庭・地域・関係機関との連携によるキャリア教育の充実
  - ①家庭と協働した12年間の連続性・系統性のあるキャリア発達支援の推進
  - ②公共施設や近隣の商業施設などの地域資源や専門的な外部人材を活用した教育活動の更なる推進
  - ③居住地区校交流や附属学校園、高等学校、他の支援学校との交流及び共同学習の積極的な実施

キャリア教育の指導目標

社会生活において自分の役割を発揮する力を身に付け、自立と社会参加、自分らしい生き方の実現を目指して、主体的に取り組むことのできる児童生徒を育成する。

キャリア教育の指導方針

- 児童生徒一人一人の発達段階とニーズに応じた指導・支援を計画的・組織的に行う。
- 家庭や地域、関係諸機関などとの連携を密にし、指導内容、指導方法等の工夫を図る。

キャリア教育を通して児童生徒につけたい力

		小学部	中学部	高等部
人間関係形成・社会形成能力	①周囲への関心・他者理解	教師や友達に興味をもち、他者の気持ちを考えて行動する。	自分の家族に感謝したり地域の人々に関心を向けたりして、他者を意識しながら協力して活動する。	他者を尊重し、譲歩したり思いやりをもって行動したりする。
	②集団参加	集団の中で落ち着いて遊んだり学習したりする。	他者と協力しながら活動に取り組む。	組織の意義を理解し、互いの役割を尊重しながら周囲と共同・協働して活動に取り組む。
	③意思表示	自分の思いを自分なりの方法で、他者に伝える。	困ったときに、自ら他者に伝える。	自分の意思を伝えるスキルを身に付け、適切な方法で相手に分かるように伝える。
	④場に応じた言動	あいさつをしたり、身だしなみを整えたりする。	場面に応じて、適切なあいさつをしたり服装を調整したりする。	相手や状況に応じたあいさつや返事、言葉遣いを判断し、適切に使い分ける。
自己理解・自己管理能力	①自己理解・自己選択・自己決定	自分が好きなことや苦手なことを知り、行動を選択、決定する。	自分が得意なことや苦手なことを知り、自分なりの理由をもって選択、決定をしたりする。	自分の能力や適性を知ったり、障害に起因する難しさや特性について受容したりして、自分により合ったものを選択し、決定する。
	②自己評価・他者評価	自分の言動を振り返ったり、教師や友達に考えを聞いたりする。	自分の言動や行動の結果を振り返ったり、他者の考えを聞き入れたりする。	自分の言動を客観的に振り返るとともに、他者からの評価も受け入れ、比較して違いを知る。
	③自己調整	自分の気持ちを整え、すべきことに取り組む。	自分の状態を教師に伝え、行動を調整する。	問題解決のための方法を自ら考えたり、必要な支援を周囲に依頼したりして、情緒の安定や状況の改善を図る。
	④習慣形成	自分の身の回りのことは自分でする。	基本的な生活習慣を身に付ける。	職業生活に必要な習慣を身に付け、定着させる。
課題対応能力	①様々な情報への関心	遊び等の活動に取り組む中で、様々なことに興味をもつ。	社会の身近なものに様々な情報があることに気付く。	自分の現在や将来の生活について必要な情報をメディアや書籍等から収集し、自らの生活と関連させる。
	②情報収集と活用	教師と一緒に情報機器や本を活用して調べ、学習や生活に生かす。	様々な方法で必要な情報を調べ、学習や生活で活用する。	収集した情報と自らの生活の関連に気付き、必要な事柄を取り入れたり生活に生かしたりする。
	③課題解決 (目標設定、計画、立案、実行、振り返り)	困ったときに助けを求めたり、経験したことをもとに自ら取り組んだりする。	自分たちの興味関心から活動を設定したり、身近なもの課題に気付いたりし、計画を立てて目的達成や課題解決に向けて取り組む。	以前の学習や経験を踏まえた目標を設定して活動に取り組み、実行した後成果と課題を整理して振り返る。
キャリアプランニング能力	①自己の役割の理解	学級の中での自分の役割を意識して、活動に取り組む。	学級や学部の中の自分の役割を意識して、責任をもって行動する。	学校生活や社会生活の中でそれぞれの役割に意義があることを理解し、自分が果たすべき役割に責任をもって取り組む。
	②社会資源の活用とマナー	公共施設や交通機関の利用方法を知り、利用する。	公共施設や交通機関などの決まりやマナーを守って利用する。	公共施設や公共機関の利便性及び障害者手帳等の利用方法や制度について知り、活用する。
	③金銭の扱い	お金を使って、必要なものを買う方法を知る。	買い物の計画を立てたり、金銭の扱いに慣れたりする。	労働と報酬の関係を理解するとともに、適切かつ計画的に金銭を扱う。
	④生きがい、やりがい、働く喜び	係活動や当番活動などで人の役に立っていることに気付く。	誰かに感謝されたり喜んでもらえたりする経験を通して、人の役に立っていることを実感し励みにする。	卒業後の生活を思い描きながら、将来の職業生活について自分の考えをもったり、将来設計に基づいた余暇活動を見出したりして実行する。